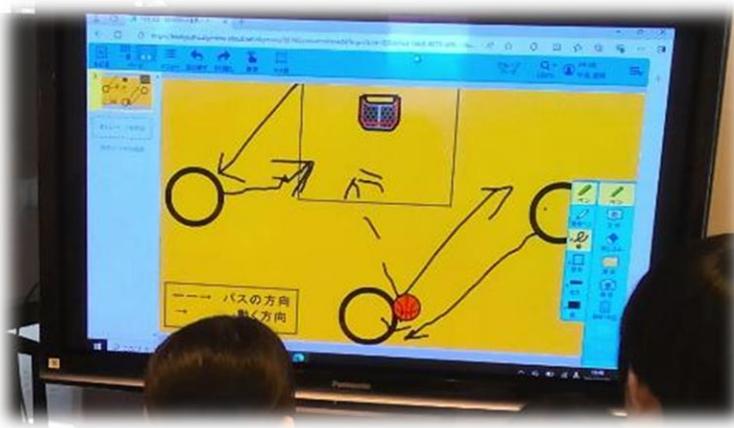
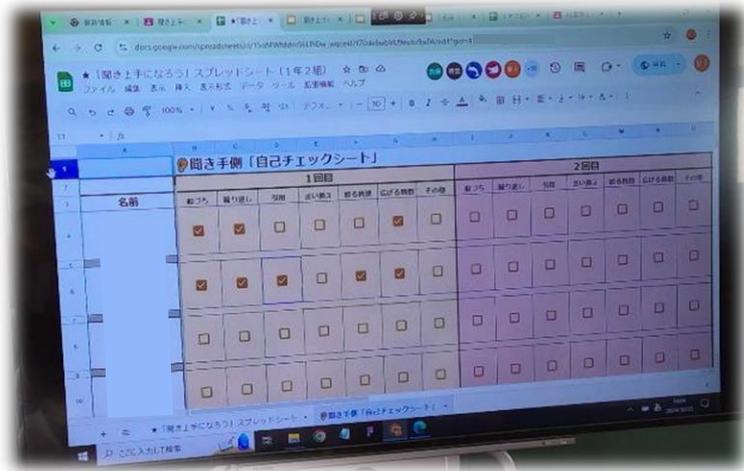


「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

自らの学習の状況を把握し 主体的に学習を調整

学習過程の進捗を確認できるデータを共有させ、生徒に学びの過程を意識させています。



異なる考え方が組み合わせさり よりよい学びを生み出す

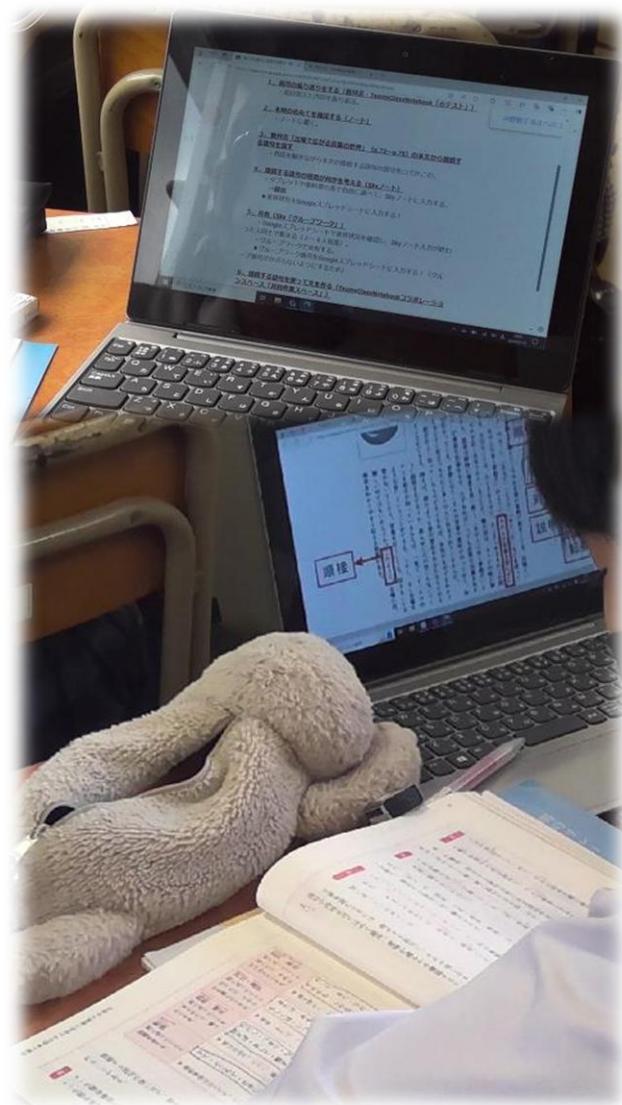
学習支援ソフトによって、他者や他グループの考えを共有させ、多様な考えに触れさせています。

情報活用能力の育成

自立して学習していくために

学習支援ソフトに学習課題や学習過程、学習形態を示し、生徒がいつでも確認しながら、学び方や学習形態を自己決定し、課題解決していくことができるようにしています。

教科書や資料集の読み取り方、インターネットで情報を収集する手だて、見方・考え方をはたらかせること、集めた情報を精査する考え方など、どの教科でも繰り返し指導を続けることで、生徒の情報活用能力が向上しています。



校務 DX（GIGA 環境を活用し教員の働き方改革につなげる）

職員会議でクラウドを活用

会議資料をクラウドで共有し、訂正や変更をリアルタイムに行うことで、会議時間を短縮しています。教師に便利さを体感させることが、授業での活用にも繋がっています。

指導主事と教員でクラウドを活用

教育委員会指導主事と、教頭やLDX担当教員がチャットで情報共有しています。指導案検討では共同編集を行いました。

自動採点システムの導入

北九州市は令和6年度から自動採点システムを導入しました。採点に係る時間が大幅に短縮されています。

